

## 選挙管理委員会事務局長

## 平成 20 年度 局経営方針自己評価シート 総括表

## ○目標の達成状況

業績目標の達成状況 (アウトプット)		戦略の進捗状況 (アウトカム)	
①：達成	8 (57%)	A：期待を上回る成果があった	0
		B：期待どおりの成果があった又は戦略どおりこのまま具体的取組を進めることが適当	2
②：進捗が遅れている	1 (7%)	C：戦略の変更はないが、具体的取組の進め方等に改善が必要	0
		D：戦略の変更も含め、抜本的な見直しが必要	0
③：達成できなかった	0 (0%)	E：その他(評価不可)	10
④：その他(取組実績なし)	5 (36%)		
計	14 (100%)	計	12

## ○目標の達成状況に対する局長の総括的認識

20 年度は結果として選挙は実施されなかった。

20 年度の取組の成果としては、取組 1-1-①裁判員候補者予定者名簿の調製を 9 月に予定していたため、8 月までにはシステム構築を完了し研修を実施したあと、無事にシステムを使用し名簿調製を終えた。

また、取組 3-1-①大学での出前講義を実施し、学生にレポート提出を依頼し、若年層に政治に興味を持ってもらえる啓発について意見を記載してもらったところ、大学祭での啓発、携帯サイトの活用及びフリーペーパーへの広告掲示等啓発手法についての意見のほか、たとえば小・中・高校への出前講義など、次世代有権者への啓発を充実させることが必要との意見が寄せられ、今後の啓発事業の参考とすることとした。

21 年度は衆議院選挙が予定されており、20 年度の取組も踏まえながら、厳正・円滑な選挙執行のため、引続き取組を進めてまいりたい。

目標像				使命			
有権者の意思が的確に反映される社会の実現				法に基づく「選挙に関する事務」及び直接請求等の「選挙に関係のある事務」を厳正・円滑かつ効果的に実施すること			
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	20年度具体的取組・業績目標	20年度の実績		戦略ごとにみた戦略・具体的取組の進捗状況と一体的評価(※2)	課題への対応(※3)
				20年度に行った具体的取組と成果	業績目標の達成状況(※1)及び課題		
経営課題1の背景となる現状 裁判員制度(21年5月施行までに)、国民投票法(22年5月施行)といった新制度の創設に伴い、現行のシステムでは対応しきれないため対応方針を決定する。また、最近の度重なる法改正に迅速な対応ができる体制整備が求められている。	経営課題1 【制度の創設や改正に伴う体制の整備】 裁判員制度・国民投票法など新制度の創設や毎年の制度改正に対応できる体制の整備	戦略1-1 【名簿抽出システムの構築】 事務開始時期を見据え、誤りのない名簿抽出を実施するためのシステム構築を行う (達成目標) 裁判員制度は20年8月までに、国民投票法については22年5月の法施行時に間に合うようシステムを完成	取組1-1-① 裁判員制度の詳細情報を得て、裁判員候補者予定者名簿調製のため、システムを構築する (業績目標) 20年秋の事務開始に間に合うようシステム構築 【21 削除】	システム構築を完了し(8月)研修実施後に、裁判員候補者予定者名簿の第1回目抽出を無事に終了した(9月)	【達成状況】: ①	【進捗状況】: B 裁判員候補者予定者抽出システムについては構築を完了し、第1回目の名簿抽出を実施することができた(9月) 国民投票法については、国からの情報が少ない中ではあるが、22年5月の法施行に間に合うよう、まずは予算計上を行ったので、期待どおり進捗しているといえる	
			取組1-1-② 国民投票法の詳細情報を得るとともに、有権者名簿抽出システムの構築に向けた検討を行う (業績目標) 他都市等とも情報交換を行い、現行の選挙人名簿調整事務との相違点等を踏まえ、検討課題の洗い出しを行う 【21 1-1-①】	有権者が18歳以上となること、名簿に登載される要件が既存システムと異なるため有権者名簿抽出システムの構築のための予算計上を行った	【達成状況】: ①		
経営課題2の背景となる現状 全国的にみると、選挙違反は若干減少傾向にあるものの、未だ残っており、管理執行上の問題点も選挙の都度生じている。 また、区役所の職員が市税事務所の開設等により減少したことから、従事職員の確保が困難なケースがでてきている。	経営課題2 【厳正・円滑な選挙の管理執行】 選挙違反のない明るい選挙と、誤りのない選挙の管理執行の実現	戦略2-1 【府・警察との連携強化】 選挙の管理執行及び公職選挙法等の適正な執行を担う選挙管理委員会(市・府)と警察が、より緊密な連携・情報・交換を行い、選挙違反の発生を防ぐ。 (達成目標) 常に選挙違反のない選挙を目指す	取組2-1-① 市選管、府選管、府警本部による情報交換連絡会議を開催する (業績目標) 年1回以上 【21 削除】	全体会議は未実施。代わるものとして府警4回、府選管5回、計9回の情報交換を実施し、連携強化に努めた	【達成状況】: ①	【進捗状況】: - 常に情報を共有することにより、選挙時の対応も迅速にできると考えられるが、20年度は選挙が行われなかったため、達成目標に照らした評価はできない。今後とも、連絡調整・情報共有に努める	
			取組2-2-① 研修及び研究会を担当者別・システム別にきめ細かく行う。 また、国や都道府県が主催する研修にも積極的に参加する。 (業績目標) 研修、研究会を合わせて年3回以上開催するとともに、質問等があった場合はフォローアップを実施。 また、国や都道府県が主催する研修(年3回程度)に参加し、資質向上に努める。 【21 削除】	(本市が主催した研修) ・初任者研修 5月 ・裁判員制度事務研修 8月 ・期日前・国民審査研修 9月 (本市以外が主催した研修) ・都道府県選挙管理委員会事務講習会 8月 ・明るい選挙推進啓発リーダー研修 10月 ・明るい選挙推進協会会長等研修 10月	【達成状況】: ①		
		戦略2-2 【選挙担当者研修等の見直しと強化】 選挙担当者研修の充実を図るとともに事務研究会の活性化を図り、担当者の資質向上と人材の育成に努める。 (達成目標) 常に選挙無効や当選無効を招かない誤りのない選挙の管理執行を目指す。引続き選挙無効・当選無効0件を維持。				【進捗状況】: - 20年度は選挙が行われなかったため、達成目標に照らした評価はできないが、選挙のない年には一般的な、また選挙が近づくとより選挙実務に即した研修を実施し、担当者の資質向上と人材の育成に努めている	

※1 業績目標の達成状況について(②~③はその理由を「課題欄」に追記してください。)

①…目標を年度内に達成(少しでも目標を下回れば①にはなりません。) ②…(i)進捗状況が遅れているが、今年度早期に達成予定、(ii)目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成した ③…達成できなかった

※2 戦略の進捗状況について

A…期待を上回る成果が得られた B…期待どおりの成果が得られたまたは戦略どおりこのまま具体的取組を進めることが適当 C…戦略の変更はないが、具体的取組の進め方等に改善が必要 D…戦略も含め、抜本的な見直しが必要

※3 課題への対応状況について(戦略の進捗状況に対する自己評価がCまたはDの場合、「課題への対応」欄への記入が必須となります。)

ア…21年度局経営方針に反映済み イ…21年度局経営方針は変更しないが実施上の改善・工夫を行う ウ…21年度局経営方針を変更する(様式3に記載要) エ…22年度以降の局経営方針で対応する(様式3に記載要)

目標像 有権者の意思が的確に反映される社会の実現				使命 法に基づく「選挙に関する事務」及び直接請求等の「選挙に関係のある事務」を厳正・円滑かつ効果的に実施すること			
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	20年度具体的取組・業績目標	20年度の実績		戦略ごとにみた戦略・具体的取組の進捗状況と一体的評価(※2)	課題への対応(※3)
				20年度に行った具体的取組と成果	業績目標の達成状況(※1)及び課題		
		戦略2-3 【選挙事務従事者の確保】 区役所の職員の減少に伴って不足する投開票事務従事者を確保する (達成目標) すべての選挙における投開票事務従事者をこれまでの実績と同人数確保する	取組2-3-1-① 区役所以外の職員に投開票事務の応援を依頼する (業績目標) 全市的な選挙が行われれば実施 【21 2-1-②】	特段の取組なし	【達成状況】：－ 全市的な選挙が行われなかったため、いずれにも該当しない	【進捗状況】：－ 全市的な選挙が行われなかったため、取組実績がなく評価できない	
経営課題3の背景となる現状 啓発にあたっては、地域団体等地域の協力体制が充実しているが、各種選挙における投票率の低下が懸念され、特に若年層の投票率の向上が依然として低い。	経営課題3 【投票率の向上】 投票率の向上（主に若年層を対象とした選挙啓発活動の充実）と投票環境の向上	戦略3-1 【若年層対策】 若年層の投票率の向上を図るため、ヘッドスタートプログラムなど大学の協力を得て事業を実施するとともに、市が実施する若年層向けの各種イベントと連携し啓発を行う (達成目標) 投票率を前回選挙より1%以上向上させることを目指す。 20代・30代の投票率を全国平均に近づける。	取組3-1-1-① 啓発事業の企画・立案や実施にあたり、大学生の意見を聞き、効果があると思われるものについて取り入れる (業績目標) 大学での出前講義（1回以上） 【21 3-1-1-①】	同志社大学及び神戸大学で出前講義を実施し(6月)、学生からレポート提出をしてもらい、若年層に有効な啓発等についての意見を集約することができた	【達成状況】：①	【進捗状況】：－ 20年度は選挙が行われなかったため、達成目標に照らした評価はできないが、講義先の学生から、若者が集まる場所へのポスター掲出、携帯サイト・フリーペーパーへの広告掲示等、啓発手法についての意見のほかたとえば小・中・高校への出前講義など、次世代有権者への啓発を充実させることが必要との意見が寄せられた	【対応状況】：ア 集約した意見も参考にしながら、今後ともより効果的な啓発のあり方について検討していくこととした
			取組3-1-2-② 大阪市が実施する若年層向けイベントと連携した啓発事業を行うため各種イベントの調査・検討を行う (業績目標) 上記イベントについての資料収集や主管局への調査を行い、候補となるものを絞り込む 【21 削除】	大阪市のイベント 30 ほどを検証した結果、各種イベントの内容、対象者等を勘案した結果、適当なものがみつからなかった	【達成状況】：①		
		戦略3-2 【モチベーションの向上】 地元団体等の協力体制が充実していることが強みであり、そこに注力することが投票率の向上につながると考えられることから、啓発事業を実施する各区選挙管理委員会のモチベーションをさらに上げ投票率の向上を促進する (達成目標) 投票率を前回選挙より1%以上向上させることを目指す	取組3-2-1-① 区選挙管理委員会を表彰する制度の検証 (業績目標) 19年統一地方選から実施している制度の表彰基準を検証する 【21 削除】	表彰制度の検証を実施した結果、引き続き投票率など比較しやすいものの他、工夫を凝らした啓発等について表彰を行うこととし、新たな基準の設置は行わないこととした	【達成状況】：①	【進捗状況】：－ 20年度は選挙が行われなかったため、達成目標に照らした評価はできない	
		戦略3-3 【投票案内状の改善】 投票案内状に関しては、啓発効果も高く選挙人から個別の要望があるが対応できていない。改善により投票に行きやすくする。 (達成目標) 投票率を前回選挙より1%以上向上させることを目指す	取組3-3-1-① 地図を鮮明化するなどこれまでも工夫してきたが、案内状にさらにきめ細かな情報（例えば投票所の変更情報等）を掲載する (業績目標) 市民の意見や他都市の例を検証し、掲載情報を20年度中に確定。 【21 削除】	他都市の案内状を取り寄せ、参考にしながら、投票所の変更情報を掲載することとした	【達成状況】：①	【進捗状況】：－ 20年度は選挙が行われなかったため、達成目標に照らした評価はできない	

※1 業績目標の達成状況について(②～③はその理由を「課題欄」に追記してください。)

①…目標を年度内に達成(少しでも目標を下回れば①にはなりません。) ②…(i)進捗状況が遅れているが、今年度早期に達成予定、(ii)目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成した ③…達成できなかった

※2 戦略の進捗状況について

A…期待を上回る成果が得られた B…期待どおりの成果が得られたまたは戦略どおりこのまま具体的取組を進めることが適当 C…戦略の変更はないが、具体的取組の進め方等に改善が必要 D…戦略も含め、抜本的な見直しが必要

※3 課題への対応状況について(戦略の進捗状況に対する自己評価がCまたはDの場合、「課題への対応」欄への記入が必須となります。)

ア…21年度局経営方針に反映済み イ…21年度局経営方針は変更しないが実施上の改善・工夫を行う ウ…21年度局経営方針を変更する(様式3に記載要) エ…22年度以降の局経営方針で対応する(様式3に記載要)

目標像 有権者の意思が的確に反映される社会の実現				使命 法に基づく「選挙に関する事務」及び直接請求等の「選挙に関係のある事務」を厳正・円滑かつ効果的に実施すること		
現状認識	主な経営課題	戦略及び達成目標	20年度具体的取組・業績目標	20年度の実績		課題への対応(※3)
				20年度に行った具体的取組と成果	業績目標の達成状況(※1)及び課題	
経営課題4の背景となる現状情報のデータ化やホームページの活用などこれまでも改善を図ってきたが、この間市民やマスコミの関心の高い立候補者等情報の速やかな提供が求められている	経営課題4 【立候補者等情報の正確・迅速な提供】 市民が知りたい情報を早く伝える	戦略4-1 【電子データによる情報提供】 ITを活用し、立候補者に関する情報を正確かつスピーディーに提供する (達成目標) 全ての選挙で情報収集後10分以内の報道機関への提供	取組4-1-① 府や各区から報告を受ける立候補者一覧表等情報をデータ化する (業績目標) 全市的な選挙が行われれば実施 【21 削除】	特段の取組なし	【達成状況】：－ 全市的な選挙が行われなかったため、いずれにも該当しない	【進捗状況】：－ 全市的な選挙が行われなかったため、取組実績がなく評価できないが、衆議院選挙以外の主な選挙では実績がある
経営課題5の背景となる現状効果的・効率的な選挙業務の執行が求められている(経費削減・人員削減・時間短縮)	経営課題5 【効果的・効率的な選挙業務の実現】 経費・人員削減 老朽機器等の更新など	戦略5-1 【投票管理システムの改善】 投票管理システムの改善を実施し、ネットワーク化を進めることにより投票所での受付の利便性を向上 (達成目標) 平成23年市長選挙までに全ての投票所でのネットワーク化に向けて検討する	取組5-1-① ネットワーク化を進める (業績目標) 全市的な選挙が行われれば6区以上で実施 【21 2-1-③】	特段の取組なし	【達成状況】：－ 全市的な選挙が行われなかったため、いずれにも該当しない	【進捗状況】：－ 全市的な選挙が行われなかったため、取組実績がなく評価できない
		戦略5-2 【老朽機器等の更新】 経費負担の軽減に配慮しながら老朽化している機器等を更新し、時間短縮等効率的な選挙執行を促進する (達成目標) 計数器及びシステム更新の実施	取組5-2-① 選挙開票用計数器の精査検証により、計画的更新を行う (業績目標) 全市的な選挙が行われれば48台更新 【21 2-1-④】	特段の取組なし	【達成状況】：－ 全市的な選挙が行われなかったため、いずれにも該当しない	【進捗状況】：－ 全市的な選挙が行われなかったため、取組実績がなく評価できない
		戦略5-3 【ペーパーレスの推進】 ペーパーレスの推進により、経費節減を図るとともに、地球にやさしい選挙を執行 (達成目標) 提供情報やマニュアル等のデータ化の推進	取組5-3-① 立候補者一覧情報等のデータによるプレス提供及び名簿対照事務のシステム化による選挙人名簿抄本の縮減によりペーパーレスを推進する (業績目標) 衆議院選挙が行われれば選挙人名簿抄本の50%縮減実施(その他の選挙では実施済) 【21 削除】	特段の取組なし	【達成状況】：－ 全市的な選挙が行われなかったため、いずれにも該当しない	【進捗状況】：－ 全市的な選挙が行われなかったため、取組実績がなく評価できない、衆議院選挙以外の主な選挙では実績がある

※1 業績目標の達成状況について(②～③はその理由を「課題欄」に追記してください。)

①…目標を年度内に達成(少しでも目標を下回れば①にはなりません。) ②…(i)進捗状況が遅れているが、今年度早期に達成予定、(ii)目標は下回ったものの、ほぼ目的を達成した ③…達成できなかった

※2 戦略の進捗状況について

A…期待を上回る成果が得られた B…期待どおりの成果が得られたまたは戦略どおりこのまま具体的取組を進めることが適当 C…戦略の変更はないが、具体的取組の進め方等に改善が必要 D…戦略も含め、抜本的な見直しが必要

※3 課題への対応状況について(戦略の進捗状況に対する自己評価がCまたはDの場合、「課題への対応」欄への記入が必須となります。)

ア…21年度局経営方針に反映済み イ…21年度局経営方針は変更しないが実施上の改善・工夫を行う ウ…21年度局経営方針を変更する(様式3に記載要) エ…22年度以降の局経営方針で対応する(様式3に記載要)